



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

今村 讚

人がその友のために自分の命を捨てること
これよりも大きな愛はない。

(ヨハネによる福音書 15 章 13 節)

今月のひとこと

「選挙権の行使について」

古田 和彦



10月22日、衆議院の総選挙があった。その結果については言及しないが、選挙に対する国民の意識がどうなのかと気になった。

実は、前日の21日、日本YMCA同盟での会議の折、Nさんから次のような話を聞いた。孫が18歳になって選挙権が与えられた。「大切な権利なので、選挙には行きなさい。自分で考えて投票しなさい。どうしても決められなかったら白票でも出しなさい。」と言ったとのことである。大いに感心した。次の選挙の折には、私も孫にそのように言ってやろうと思った次第である。

2015年に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、2016年の参議院選挙から18歳以上の者が投票できるように

なった。18歳に限らず、数少ない直接国政に参加できる権利を多くの国民はどう考えているのだろうか。

ところで、今回の選挙の投票率の結果は53.68%、そのうち期日前投票者は2,138万人と大幅に増加しているものの、戦後最低を記録した前回2014年の衆議院選挙の投票率52.66%に次いで2番目の低さとのこと。低さの理由について菅官房長官は折からの台風による大雨のためではないかとコメントしているが、いずれにしろ、半数に近い有権者が選挙権の行使をしていないことは、自らの権利を放棄していることで誠に残念なことである。

では、ほかの国々はどうなっているのだろうか。2013年のデータがあった。デンマークは88%、スウェーデン・アイスランドは85%と北欧諸国は高く、ドイツ71%、イギリス66%、フランス57%、アメリカ42%とのことである。また、選挙を義務化している国もある。シンガポールは93%だが、投票に行かない場合は選挙権を剥奪される。オーストラリアも93%だが、こちらは行かないと罰金が科せられる。読者諸兄姉はこの数字をどう見るのだろうか。

＜2017年10月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
17名	メン 11名	81 %	今月分
(功労	メネット 0名	(メーキャップ	切手 0 g
会員 1	コメント 0名	2名を含む)	現金 0円
名を含	ビジター 0名		年度累計
む)	ゲスト 3名	前月修正出	切手 0 g
	合計 14名	席率 %	現金 0円

<11月の行事予定>

強調月間「ワイズ理解、ファミリーファスト」

日	曜	時間	行事内容	場所
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
18	土	13:30	YMCA. YWCA 合同祈祷会	中央YMCA
18	土	15:00	第2回 湘南・沖縄部評議会	中央YMCA
20	月	16:00	部エクステンション 委員会	中央YMCA
23	祝	10:00	ウェルカムフェスタ	中央YMCA
25	土	11:00	メネットのつどい	中央YMCA

「10月例会報告」

古賀 健一郎

日時:10月12日(木)18:30~20:20

場所:横浜中央YMCA501号室

出席者:青木、伊藤、今村、大高、金子、神村、古賀、齋藤、舟田、古田、松島

ゲスト:平岡守、Annas Margareth (アンナス)、Sumantri Hannah Agustini (ハンナ)

卓話者:横浜YMCA 日本語学科のインドネシア人留学生
アンナス&ハンナ

松島ワイズの司会により、舟田会長の開会点鐘で定刻に開始。



ワイズソング、ワイズ信条唱和、予定していた押川ワイズが欠席されたため、代わって松島ワイズが聖句を朗読。ゲストの横浜YMCA日本語学科の平岡守さんと同科で学ぶアンナスさんとハンナさんの紹介。松島ワイズによる食

前感謝と食事。今例会の卓話は、横浜YMCA日本語学科のインドネシア人留学生、アンナスさんとハンナさんのお二人による「インドネシアについて」。

美しいろうけつ染め(バティック)の民族衣装でドレスアップし、平岡先生に付き添われ、質疑応答時間も含めて約40分間インドネシアの文化、生活、観光について、スライド映像を使用しながら紹介してくれた。人口2億5千万人で、17,508の島々からなるインドネシア。ふたりはジャワ島にあるジャカルタ出身。朝は自然の緑が美しく夜は街の灯りがきれい。国旗の赤は勇敢さ、白は新鮮さを表現し、インドネシア人はこの二つの面を持っている。インドネシアの食べ物の紹介。右手だけで食べる。宗教はイスラム教徒が多い。その教えから女性は手と顔しか見せない。

インドネシア語でバトウ(ゲー)クルタス(パー)ゲンティング(チョコキ)のじゃんけんが皆が遊び、挨拶の言葉『Perkenalkan, saya Koga』(はじめまして、古賀です)も学んだ。日本語を勉強した理由は?ハンナさんは「母親は日本人。日本にいる祖母と日本語を学ぶことでより楽しく会話でき、祖母が喜んでくれた」。アンナスさんは「日本のアニメや漫画に興味を抱いて大学で日



本語を学び来日した」。日本に来て最初の印象は「ゴミが道に落ちていない!」であった。インドネシアと日本の経済交流は盛んだ。二人の将来の希望は、国に帰って日本語を使った仕事をしたいとのこと。ワイズメンの方々と卓話者との年齢に大きな差があるものの、異文化の世界で育った者同士が、相手の国の話に真剣に耳を傾け質問したりしながら、豊かな交わりの時間を過ごすことができた。

ビジネスでは、今後の予定等をレビュー検討し定刻に終了した。今月のハッピーバースデーは該当者なし。ロバ献金は1万円。

「第20回横浜YMCAチャリティーラン」

古田 和彦

第20回目となるチャリティーランが10月14日(土)、例年通り横浜みなとみらい臨港パークで行われた。当日、朝からの雨で、開催が危ぶまれたが、実行委員会の判断で開催された。9時の受け付け開始時には、かなりの雨が降り、横浜ワ



イズなどが担当しているチーム登録受付は、雨で受付用紙がにじみ心配したが、競技開始ごろには何とか雨が止んだ。

「汐入の池」

での開会式では、恒例の子供たちによるチアダンスに続いて、当クラブの金子功大会実行委員長の開会宣言により開始。今年には108チームのエントリーで、子供たちのCコースから始まり、Bコース、Aコースと予定通り開始され、熱戦が展開された。

また、Bコースに湘南・沖縄部としてワイズチームが出走。第1走者野村郁雄、第2佐藤節子(厚木)、第3古賀健一郎、第4齋藤宙也、アンカー田口努(横浜YMCA総主事)の各ワイズが観衆の声援に応え力走した。

横浜クラブはつ



ワイズチームの雄姿

づきクラブとともに、上記の受付業務の担当だが、朝のチーム登録受付後は、弁当とお茶の配布。11時ごろからチームごとに、

また、ボランティアは各自で取りに来るが、1000食ほどをあらかじめ準備して手際よく配布した。さらに、食事後の弁当の空き箱を整理して、すべてのごみを回収する仕事を行った。天気もチャリティランの熱気に押されたのか、昼頃からは薄日が差してきて、爽やかな運動日和であった。



付金 5,400,000 円が横浜YMCAに渡された。

横浜クラブ参加者:伊藤メン・メネ、大高、金子メン・メネ、齋藤、田口、野村、舟田、松島、古田。

「第1回湘南・沖縄部役員会・次次期部長選考委員会」

松島 美一

標記の会は10月21日15～17時に横浜中央YMCA501号室で開かれ、次の議案が審議されました。1. 各クラブへのCS支援金の配分は大高部地域奉仕事業主査の提案に基づき審議、原案通り承認。2. 今年度の事業計画の中で未定だった①ワイズデー・チャリティー・イベント、②Y-Y's合同新年会としてサンドイッチカフェでYMCA職員を招待して交歓することはいずれも今年度は行わないことを部長が提案、承認。3. 今年度部の事業予算の一部修正が伊藤部会計より提案、承認。4. 沖縄部長公式訪問は2月3日16時現地集合が決定。5. 沖縄YMCA55年史発刊募金の支援は材料不足のため未決定。

湘南・沖縄部の次期部長は厚木クラブの佐藤節子ワイズに決定されています。その次の年度の部長は従来の選出クラブの順では鎌倉クラブの番ですが、鎌倉クラブは人数、人材の点で不可能との発言があり、討議の結果候補者選出は先送りすることになった。

以上の議事後、出席の各役員、クラブ会長、YMCA担当主事の報告・連絡、鈴木茂監事の講評があり、閉会しました。

横浜クラブからの出席者は金子部長、松島部書記、伊藤部会計、大高部地域奉仕事業主査、舟田会長でした。

「近況報告」

田口 努



9月末には、10月1日からのブランディングの新ブランドロゴの看板等の表出開始の準備に追われていました。横浜中央YMCA前の横浜スタジアムの盛り上がりも佳境に入っていました。9月末の横浜ベイスターズは、巨人と3位、4位を争い、そこを抜けて阪神との2位、3位争いと巨人戦、阪神5連戦、広島2連戦と続き、クライマックスシリーズの予行練習のような状態となり、そこを勝ち上がってクライマックスシリーズを迎えれば、そこそこ戦えるのではと期待が膨らみました。なかなか、決着がつか

かない中、横浜中央YMCAの看板の取り換えが進み、9月30日夜にLED看板の点灯試験を実施し、10月1日朝に看板にかけてあった幕を取りました。晴天の朝、横浜公園からの見栄えは良く、あとは横浜スタジアムから、夜にどのように映るのが気がかりでした。しかし、何とその日、夜の横浜スタジアムでの広島戦ナイターで横浜ベイスターズが勝利し、巨人が敗退し3位となりクライマックスシリーズ出場が決定する記念すべき日となりました。クライマックスシリーズ決定のセレモニーと花火が打ち上げられ、プロ野球ニュースや翌日の新聞でバックスクリーンを眺める選手の写真が掲載され、その映像や写真には、新ブランドロゴが鮮やかに映し出され横浜YMCAの新ブランドロゴ表出には最高の船出となりました。

ちなみに、私がベイスターズのファンになったのは、仙台YMCAのユースリーダーを経て1979年に横浜YMCAに入会・入職した頃からです。1980年代に入り、ベイスターズの前身の大洋ホエールズ時代に屋敷、加藤、高木と足が速くバントと盗塁で塁を奪う姿にスーパーカートリオと当時の近藤監督がネーミングシェースの遠藤、抑えの齋藤明雄がいた頃から徐々に好きになりました。19年前の優勝の時には、前中日監督谷繁がいた時代で、大魔神佐々木主浩投手、斎藤隆投手などは、大学の後輩でもあるので一段と親近感を感じました。なお、YMCAの新ブランドロゴがブルーになった10月1日から横浜スタジアムで行われた試合は、横浜ベイスターズが全て勝利していますので、日本シリーズの初戦2連戦は苦戦しましたが、スタジアムの3連戦は、必ず勝ち続けると信じております。ぜひ、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

「低山登山」

野村 郁雄



私の趣味はテニスだが横浜市営コートの抽選に当たる確率が低くなかなかプレイできないため、月に1～2回の頻度で低山登山をするようになった。低山の代表は、鋸山(329m)、高尾山(599m)、御岳山(929m)など300～1,000mの山だそうだが、

私たちは300m以下の山を対象にしている。

登山というよりハイキング的なイメージで、歩く時間も4時間程度。山頂で弁当を食べ下山後温泉で体を休める、また200m以下の山の場合は弁当を持参せず麓の店で美酒を嗜む。日常の雑踏を離れ自然散策をしながら仲間と語り適度な運動量も得ることができる低山登山は、心と身体そして精神面をリフレッシュさせ育む事ができる。嬉しい限りだ。

先日は横浜市の栄区と金沢区の境にある大丸山(おおまるやま)156.8mを征服した。横浜市内で最も標高が高いこの山は、天園ハイキングコースの途中にあり見過ごしてしまう人も多いそうだが、山頂からの視界は格別のものであった。

今後も神奈川県内の低山を中心に継続して実施したい。

第二例会報告

金子 功

日時: 10月26日(木) 17:00～19:00
場所: 横浜中央YMCA501号室

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

出席者：青木、今村（部分参加）大高、金子、古賀、舟田、古田、松島

協議・確認事項報告

- ① 今後の行事予定確認
- ② 十勝じゃがいもの横浜訓盲院と日本水上学園に届ける作業については11月7日（火）又は9日（木）の午前10：00で調整することとした。今村、舟田、青木各ワイズが担当
- ③ 「沖縄YMCA 55年史」出版協力募金については、横浜クラブが、募金活動の中心的な働きをしている沖縄那覇クラブの親クラブであることを考慮して11月例会においてロバ献金とは別に任意に募金協力することとした。
- ④ 11月23日（木・祝）の横浜YMCAのウェルカムフェスタへの対応については、前日22日（水）13：00に606号室に集合、値付け、陳列の作業を行う。23日（木・祝）9：00に606号室に集合することとした。
- ⑤ 11月23日熊本スピリッツクラブからの来訪歓迎についてはウェルカムフェスタ終了後17：00より、横浜中華街広東飯店で歓迎夕食会を開催することとした。来客の費用はクラブ負担、当日参加の有志で歓迎する。
（役員会終了後歓迎時のメニュー—検討のため広東飯店で役員有志が会食した。）
- ⑥ 今後の卓話予定：11月例会は「YMCAブランディング・コンセプト学習会」講師：池田直子横浜YMCA広報担当、2月例会はシニアボランティア経験を活かす会理事長政金驍氏。
- ⑦ 来年1月のY-Y's合同新年会の会場として部会を行った「ワークピア横浜」を提案、準備委員クラブの厚木クラブに内諾を得て次回評議会に報告することとした。
（フリードリンク付き大皿着席プランで 4,500円/人）
- ⑧ 12月14日（木）の例会・忘年会の案内先を協議し金子ワイズから案内することとした。

尚、項目②を協議するために、今回は、今村ワイズにご足労願ひ横浜訓盲院及び日本水上学園、また横浜クラブが寄付支援をしている聖坂学園の沿革について解説していただいた。



担当主事 青木 一弘

■YMCA平和月間

YMCAでは、11月1日（水）より11月30日（木）までの期間を平和月間として、鳩の形をした用紙に平和へのメッセージを書いて館内に掲示をしています。横浜中央YMCAも1階ロビーに用紙と掲示板を用意します。一人でも多くの方に、メッセージをお書きいただき、平和の鳩が沢山飛び立つことを願いとしています。来館の際には、ご協力をお願いします。

■2017年度世界YMCA/YWCA合同祈祷週のご案内

全世界のYMCA、YWCAでは毎年11月に合同祈祷週を定め、連なる人たちが1つのテーマを決めて聖書を読み、祈りをしています。今年のテーマは「立ち上がり、思い切って言いなさい。～抑圧や、差別におかれた人々の声を～」です。期間中には、YMCAとYWCAが合同祈祷会を開催します。

ぜひご参加ください。

日時： 2017年11月18日（土） 13時30分～15時

会場： 横浜YMCA 9階チャペル

内容： 1. 礼拝 13時30分～14時15分

説教者 押川 幸男 牧師（日本キリスト教団馬込教会）

2. 茶話会 14時20分～15時

会費： 500円

参加申し込・問合先：横浜中央YMCA 北田・生井

TEL：045-662-3721

■横浜中央YMCA「ウェルカムフェスタ」のご案内

11月23日に「ウェルカムフェスタ」を実施します。是非、ご来館下さい。

日時：11月23日（木・祝）10：30～14：30

場所：中央YMCA

内容：バザーや模擬店などYMCA国際・地域協力募金のための寄付イベント

11月例会プログラム

日時：11月9日（木）18：30～20：30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：齋藤ワイズ

- 1. 開会点鐘および挨拶 舟田会長
- 2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . 全員
- 3. 今月の聖句 今村ワイズ
- 4. ゲスト・ビジター紹介 舟田会長
- 5. 食前感謝 今村ワイズ
- 6. 食事
- 7. 卓話 「YMCAブランディング・コンセプト学習会」
横浜YMCA広報担当 池田直子さん
- 8. ビジネス・報告 舟田会長、他
- 9. Happy Birthday 大高幾子（6）伊藤比朗美（7）
伊藤誠彦（16）押川幸男（16）神村玲子（17）
- 10. 閉会点鐘 舟田会長

例会報告：齋藤ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	19：00	第79回 Y-Y'S協議会	中央YMCA
14	木	18：00	第1例会兼忘年会	中華街広東飯店
21	木	18：00	横浜Yクリスマス会	とつかYMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785